



FREDERIQUE CONSTANT
GENEVE

FC-301·303·310·312·315·710·723

機械式自動巻時計

取扱説明書

このたびは、フレデリック・コンスタントの時計をお買い
上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく
お使いいただきますようお願い申し上げます。

本商品の商品特長や最新情報、お知らせなどはこちらを
ご覧ください。

<https://frederiqueconstant.jp/features/monolithic/>



■ 安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



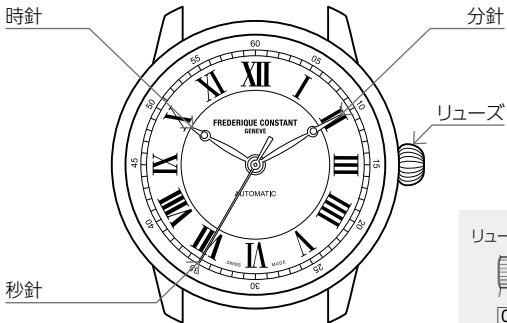
このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

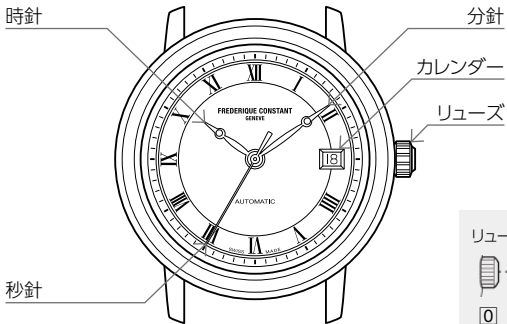
■ もくじ

各部名称 (FC-301)	5
各部名称 (FC-303)	6
各部名称 (FC-310・312)	7
各部名称 (FC-315)	8
各部名称 (FC-710)	9
各部名称 (FC-723)	10
ぜんまいを巻き上げる	11
カレンダーを合わせる(FC-303・315・710・723)	13
時刻を合わせる	14
困ったときは	15
防水性能について	16
お取り扱いにあたって	18
お問い合わせ	26

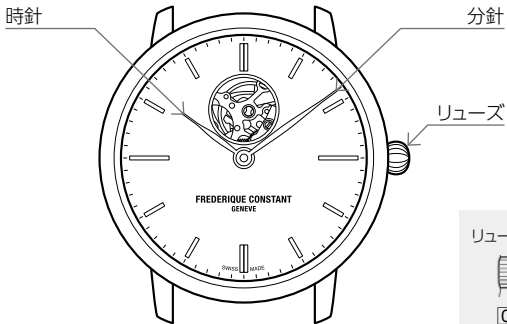
各部名称 (FC-301)



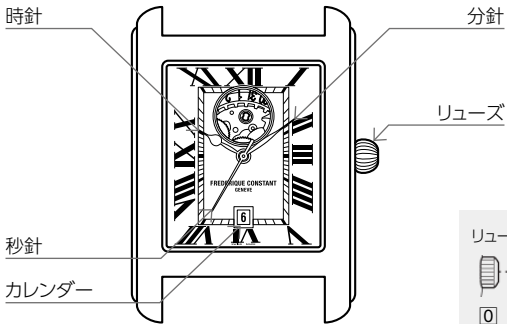
各部名称 (FC-303)



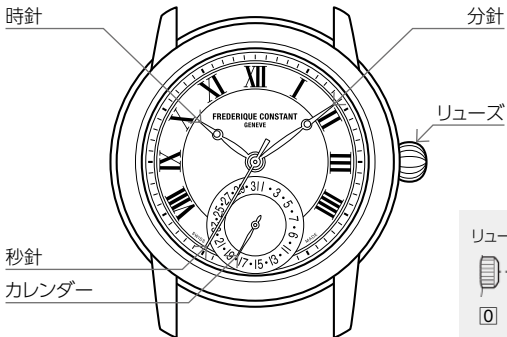
各部名称 (FC-310・312)



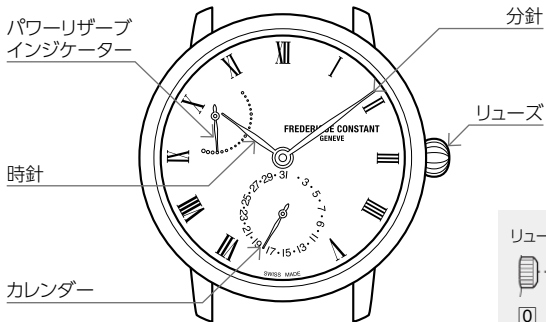
各部名称 (FC-315)



各部名称 (FC-710)



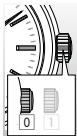
各部名称 (FC-723)



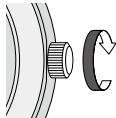
* パワーリザーブインジケーターは巻き上げ残量を表示します。

ぜんまいを巻き上げる

■ ぜんまいを手で巻き上げる



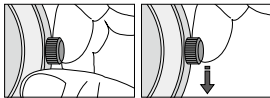
1. リューズの位置を 0 にします。
2. リューズを親指と人差し指でつまんで、右にゆっくり回します。



* ぜんまいの巻き上げ方法

リューズの下側を指の腹で下方向にこするようにしても、リューズを回すことができます。
(部品に負担をかけないために、10回ほど手で巻いた後、自動巻きで巻き上げることを推奨しております。)

(FC-301は片巻き上げ構造であり、巻き上げ時は軽い感触で問題ありません。FC-303、310、312、315、710、723は両巻き上げ構造になります。)



■ ぜんまいについて

ぜんまいを十分に巻き上げられた状態でお使いいただくと、安定した精度を維持することができます。

巻き上げのめやす この時計は、機械式自動巻き時計(手巻き機能つき)です。

● 自動巻き

腕に着けて使用すると、日常の腕の動きでぜんまいが巻き上げられます。1日8時間以上携帯するようにしてください。デスクワーク等の腕の動きが少ない場合は巻き上げが不足することがあります。そのときは手で巻き上げてください。

● 手巻き

リューズを④位置で右に回すと、ぜんまいが巻き上げられます。時計が止まった状態から、リューズを約40回転させると、ぜんまいは十分に巻き上げられた状態になります。

■ カレンダーを合わせる(FC-303・315・710・723)

1. リューズの位置を①にします。
2. リューズを回して日付を合わせます。
 - 合わせたい日付の前日にセットし、その後、時刻合わせを行ってください。
3. リューズの位置を②にして終了します。
 - 3月、5月、7月、10月、12月の初日にカレンダーを合わせる必要があります。

注：カレンダーを調整する際は、必ず針の位置を午後9時から午前3時以外に合わせてから行ってください。表示が切り替わらない場合があるだけでなく、部品が破損する可能性があります。

時刻を合わせる

1. リューズの位置を①にします。(FC-301、310、312)
 リューズの位置を②にします。(FC-303、315、710、723)
2. リューズを回して時刻を合わせます。
 - カレンダー付きのモデルは、午前／午後に注意して時刻を合わせます。
3. リューズの位置を③にして終了します。

■ 困ったときは

■ 精度が安定しないときは

機械式時計は、油切れや摩耗などで精度が不安定になります。定期的（約4年毎）に分解掃除（有償）をご依頼ください。また、長期のご使用による摩耗等による性能の劣化は、修理による初期性能への復元が困難な場合もあります。


■ ぜんまいについて

十分に巻き上げられた状態からさらにリューズを回しても、ぜんまいが切れる心配はありませんが、各パーツの破損や故障を引き起こす原因となります。10回ほど手で巻いた後、自動巻きで巻き上げることが推奨しております。

防水性能について

警告 防水性能について

- 時計の文字盤および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、次頁表を参照して正しくご使用ください。(1ATMは約1気圧に相当します)
- WATER RESISTANTは××ATMと表示しております。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンダイビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計(10気圧防水)は、素潜りには使用できませんが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	表示文字盤 または裏ぶた	仕様	使用例				
							
			水がかかる 程度の使用 (洗顔、雨など)	水仕事や 一般水泳に 使用	スキンドイビ ング、マリン スポーツに 使用	空気ポンベを 使用する スキューバ 潜水に使用	水滴がついた 状態での リュースや ボタンの操作
非防水時計	—	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用 防水時計	WATER RESISTANT 3ATM	3気圧 防水	○	×	×	×	×
日常生活用 強化防水時計	WATER RESISTANT 5ATM/6ATM	5気圧/ 6気圧防水	○	○	×	×	×
	WATER RESISTANT 10ATM	10気圧 防水	○	○	○	×	×

■ お取り扱いにあたって

注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ストラップの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

注意 使用上の注意

- リューズは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。リューズがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままリューズ操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗いよく拭き取ってください。

- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、リューズ、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

■ ストラップについて

- ストラップの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- レザーストラップは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります(脱色、接着はがれ)。また、かぶれの原因にもなります。

- レザーストラップの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ストラップは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ラバーストラップは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

■ 姿勢について

- 機械式時計の精度は、重力の影響を受けて変化します。身につけているとき、時計はさまざまな姿勢(向き)になるため、重力の向きが刻々と変わり、精度に差が生じます。

■ 温度について

- 機械式時計は、精度を制御する部分に金属部品が使われているため、温度変化による金属の膨張収縮やばねとしての性質の変化の影響を受けて精度に差が生じます。

■ 磁気について

- 機械式時計は、一度磁気の影響を受けると、磁気から遠ざけても機械内部に磁気の影響が残り、時計精度に影響を及ぼす場合があります。この場合は、修理が必要となりますので、磁気には十分にご注意ください。

スマートフォン／テレビ／携帯音楽プレーヤー／オーディオスピーカー／ヘッドホン／ノートパソコン／磁気健康器具／交流式電気カミソリ／ハンドバッグの留め具／冷蔵庫のマグネットドア 等
※密着状態では磁気の影響を強く受けますが、5cm程度離せばほとんど影響を受けません。

■ 衝撃などについて

- 機械式時計の精度はてんぷの回転に基づいています。強い衝撃や連続した衝撃は、てんぷの運動に強い影響を与えますので、機械式時計の精度を大きく損ないます。衝撃があまりに大きいと、てんぷが変形したり、破損してしまう場合もあります。落としたり、身につけたままゴルフやテニスのような、手首に強い衝撃が及ぶスポーツをしたりしないようにご注意ください。

■ 化学薬品・ガス・水銀について

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に

触れたりしますと、ケース・ストラップ等が変色することがありますのでご注意ください。

注意 時計は常に清潔に

- ケースやストラップは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやストラップは直接肌に接しています。ケースやストラップに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。レザーストラップは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

注意 時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- メタルブレスレット・ラバーストラップは水で汚れを洗い落としてください。メタルブレスレットのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

製品に関するお問い合わせ

フレデリック・コンスタント相談室

TEL: 0570-03-1988

受付時間：9:30～17:30 (祝日を除く月～金)

修理に関するお問い合わせ

シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係

TEL: 0120-977-867

受付時間：9:30～17:30 (祝日を除く月～金)

〒121-8508 東京都足立区竹の塚5-7-3 竹の塚Joyぷらざ4F

